

明峰中学校と小瀬高校は、連携型中高一貫校として新たな中高連携を模索し、推進することを通して、「地域の中で歩み、地域に貢献できる生徒」の育成に励んでいます。

教育講演会（茨城放送アナウンサー）

「言葉」は自分を輝かせるために！

11月30日（水）、明峰中・小瀬高の生徒を対象に、連携型中高一貫教育講演会を開催しました。

今回は、講師として、茨城放送編成事業部アナウンス室長の菊地真衣さんをお招きしました。

講演では、アナウンサーになりたいと思ったきっかけをお話してくださいました。小学校時代の放送委員会での出来事や就活でアナウンサーへの道に一度挫折した経験など、失敗談も交えながらお話をしてくださいました。また、就活を一度休んでいた時期に、父から「真衣の話を聞いていると、本当にその場所に行っているみたいだ」と言ってもらえたことで、「言葉で人をどこにでも連れていけるような人間になりたい」と自分の目標を明確にし、アナウンサーへの道に再挑戦したことなども話してくださいました。

講演の最後には、「人を傷つけるために使うのではなく、自分を輝かせるために『言葉』という武器を使ってほしい！」という、言葉を扱うプロならではのメッセージをいただきました。

生徒からは、「アナウンサーという素晴らしい職業に就いている菊地さんが、失敗談をざっくばらんに話してくださり、親しみを感じながら講演を聞くことができた」「『言葉は凶器にもなる』という言葉が強く刺さった。相手を傷つけるのではなく、幸せにできるような言葉の使い方を心がけたい」といった感想が寄せられました。



ふれあい花壇整備

「来 春」に向けて

11月下旬から12月上旬にかけて、連携型中高一貫教育の一環として、「ふれあい花壇」の整備を行いました。

6月下旬に植えたサルビアを抜き取り、学校技術員の皆さんがふかふかに整備して下さった花壇に、ビオラの苗を植えました。

厳しい寒さに耐え、来年の春に美しい花を咲かせてくれるように、みんなで心を込めて植えることができました。

明峰中学校整備委員と小瀬高校JRC部員の皆さん、ありがとうございました。

